材料（製品）安全データシート

製品の名称	：DP 懸濁液	ページ	：	1/5
データ更新日	：2006年6月28日	発行日	：	2006年6月28日
製品名称番号	：M1203020	SDS-ID	：	US/5.0

1． 物質/製品と製造/販売会社

製品の名称 ：DP 懸濁液
適用 ：材料微細構造検査試料の研磨及び琢磨
容器のサイズ ：125 ミリリットル、 250 ミリリットル
データ製造者 ：ストルアス社
製造・販売会社 ：ストルアス社(StruersA/S)
Pederstrupvej 84, 2750 Ballerup, DENMARK (TEL：＋45-44600-800)
丸本ストルアス株式会社
〒110-0015 東京都台東区東上野1-18-6(TEL：03-5688-2930)
緊急時の連絡先 ：丸本ストルアス株式会社 応用開発部
〒110-0015 東京都台東区東上野1-18-6(TEL：03-5688-2917)

2. 成分の構成/情報

本製品は、安定剤と水を含有している。

薬品名	ECNo.	CAS No.	含有比 （%）	危険性の分類
ダイヤモンド	231-953-2	7782-40-3	＜3	-
水	231-791-2	7732-18-5	90～100	-
複素環式窒素化合物	-	-	＜0.1	-
1,3-ブタジオール	203-529-7	107-88-0	3～5	-

注記：なし。

3． 危険性の特定

本製品は、危険性の区分に分類されない。

人体 ：本製品は、ほとんど危険性がないが、少量の増感剤を含有しているので、刺激に反応しやすい者は、アレルギー反応を引き起こす恐れがある。
環境 ：本製品には、環境に対する危険性はないと思われる。

4. 応急手当

吸入	：患者を新鮮な空気がある場所に移し、安静にする。
皮膚に付着	：汚染された衣服を脱衣して、清浄水で皮膚を十分に洗浄する。湿疹などの皮膚炎になった場合は、この指示書を持参して、医師の診察を受ける。
眼球に飛散	：ただちに大量の清浄水で少なくとも15分間洗眼する。コンタクト・レンズは取り外して、まぶたを大きく開ける。炎症が治まらない場合は、この指示書と共に病院へ搬送する。
経口摂取	：ただちに口内を洗浄して、大量の水を飲む。容態を観察する。悪心がある場合は、この指示書を持参して、医師の診察を受ける。

5. 消火方法

消火剤	：周辺の材料に適当な消火剤を使用する。
特定危険性	：特になし。

6. 偶発的漏洩時の対応

人身保護対策	：皮膚に付着したり、眼球に飛散しないように注意する。
環境保護対策	：河川、土壌などに排出してはならない。
清掃方法	：砂やおが屑などの不活性な吸収材で、漏洩物を取り囲むようにして回収する。第13項にしたがって、廃棄物処理をする。

7. 取扱方法と保管方法

安全な取扱方法	：皮膚に付着したり、眼球に飛散しないように注意する。労働衛生管理を遵守して励行する。
技術的対策	：可能な限り接触しない作業方法を採用する。
技術的注意	：局所排気を推奨する。
安全保管の技術的対策	：特にない。
保管条件	：元の容器に密栓して保管する。

8. 被曝防止と人身保護

技術的対策	：特にない。
人身保護	：人身保護の機器は、CEN規格に従って、機器提供会社と共同で選定する。
呼吸装置	：特にない。
手指保護	：保護手袋を着用する。
眼球保護	：保護眼鏡又は顔面保護のフェイス・マスクを着用する。
皮膚保護	：特にない。
環境被曝制御	：空気汚染制御の必要あり。

９．　物理化学的特性

外観	：白色又は黒色の液体。
臭気	：無臭。
水素イオン指数（pH）	：7
融点	：＜1℃
沸点	：100℃
引火点	：＞100℃
爆燃性	：分からない。
蒸気圧	：17mmHg
相対密度	：　1
溶解性	：水に溶解する。

１０．安定性と反応性

安定性	：常温で安定している。
禁止条件/材料	：特にない。
危険な分解性物質	：特にない。

１１．毒物学的情報

吸入	：通常の室温では該当しない。
皮膚に付着	：長時間にわたって付着していると、皮膚が赤くなったり、炎症を引き起こす恐れがある。少量の増感剤を含有しているので、刺激に反応し易い者が繰り返し使用すると、アレルギー反応を引き起こす恐れがある。
眼球に飛散	：炎症を引き起こす恐れがある。
経口摂取	：偶発的に経口摂取する程度の量ならば、有害な影響はない。
特定の影響	：過敏症になる恐れがある。

発癌性	：全国毒物研究計画（NTP）	：なし。
	国際癌研究所（IARC）研究	：なし。
	職業安全保健局（OSHA）	：なし。

１２．生態学的情報

移動性	：水に溶解するので、河川などに拡散する恐れがある。
分解性	：本製品は、生物学的に容易に分解する。
生態系有毒性	：本製品は、環境に有害な影響を与える恐れはないと思われる。
体間蓄積の可能性	：体間蓄積性に関するデータはない。
その他の有害事項	：事例なし。

１３．廃棄方法

廃棄物や残留物を処分する場合は、地元監督機関の要請事項に従う。

残留廃棄物　　: EW Cコード: 12 01 99 (*)

１４．搬送方法

本製品は、危険物の搬送に関する国際規格（IMDG、IATA、ADR/RID）の対象ではない。

１５．法的規制

ラベル表示　　: 製品の化学組成に関する製造業者の報告に基づいて評価を実施し、本製品には毒物の分類やラベルの表示が義務づけられていないことを確認した。(*)

全国防火協会（NFPA） 評価　　: -

特記事項　　: 毒性物質規制法（TSCA）に記載。

法令法規　　: ヨーロッパ/アメリカ合衆国:
本材料（製品）安全データシートは、欧州共同体規則にしたがって作成した。

１６．その他

ユーザは適正な作業手順に習熟し、本書の内容に精通していなければならない。

今回修正及び追加のあった項目 ： 第13 及び第15項
(*) 印 ：今回変更した箇所

デンマーク毒物調査センター(DTC) 担当者承認 (署名):

本データシートの内容は現時点で有効な情報であり、通常の使用条件で、同梱資料又は取扱説明書に記載する使用方法で適正に取り扱う限り、弊社が知り得る最も正確な情報である。本製品を定められていない目的に使用したり、他の製品又は他の使用方法と併用する場合は、ユーザが危険性に責任を負う。

デンマーク毒物調査センター (DTC)
Kogle Alle 2, DK-2970 Horsholm, Denmark (TEL:+45-4576-2055, FAX: +45-4576-2455)